第１回子どもの権利条例検討委員会議事録

事務局からの「委員会の目的と役割」に対する質疑や今後の委員会の進め方について意見交換を行った。

委員から

・ 市民に条例作りの情報を伝えることが重要、また、その手段の検討
・ 条例制定の目標は、平成 19 年 9 月となっているが、柔軟にできないか。
・ 話し合いの形態として、ワークショップ的手法などグループ分けして話し合う方法など工夫が必要、20 名の委員の全員の話し合いは難しい。

市から

・ 条例作りは、事務局主導ではなく、様々な手法も含めて委員相互の合意のもと進めてほしい。

委員から

・ 子どもの現状について、もう少し理解を深めたい。
・ 次回までの宿題として、自分の関わっている分野の子どもの問題点など持ち寄ってはどうか。
・ 委員会で毎回、30 秒程自己紹介をしたら、委員相互がわかりあえるのではないか。
・ 市民参加の方法を検討する前に、何を子どもたちに聞きたいのか、どんな意見を市民に求めるのかを検討すべき。そのためには、子どもの現状と課題に時間をかけるべき。

まとめ

・ 2 月末までに委員が、「子どもたちの現状と課題」のレポートを提出、事務局で提出されたものを、委員に配布する。